

クリスマス 聖誕劇 スキット

「福音を告げられた羊飼」

脚本…村上進

2015.12/Rev. 0.1

前奏 「羊は安らかに草をはみ」 (J.S.バッハ)

ナレーション

その晩も羊飼いたちは、いつものように交代で夜通し羊の番をしていました。夜になると羊を狙って牙をもつ動物どもがやって来るからです。羊たちをひとつの場所に集めて眠らせながら、お当番の羊飼いたちは、遠くでかすかにひびくおそろしげな動物の遠吠えや、草原をわたる風の音にひとつひとつ耳をすませていました。空を見上げるとそこにはお花畑が匂うように、星たちがいちめんに輝いておりました。

羊飼いたハト、アシユベル、舞台中央の焚き火を囲んで座っている。

ケハト へへえつくしゆ。さびいなあ。

タハト はく…おんどにさびい。(鼻をすする)

アシユベル (空を見上げたまま) けんど星はきれえだなや。

タハト はく…おんどにきれえだ。

(間)

ケハト よう。(棒きれで地面をつつきながら) おれだち臭えかなあ。

タハト はく…おんどにくせえ。

ケハト (タハトを小突く) 鼻つまりのおめえにわかるかよ。なあじつちゃん、俺だち臭えかなあ。

アシユベル んなこたねえべ。(自分の袖の臭いをかいでむせる) げほつ。んくまあ、なんだ、

いい匂いだべ。

ケハト やっぱ臭えよなあ。

アシユベル なんだ? 町の衆になんか言われたか?

ケハト 言われるも何も、顔しかめてよけてくんだもの。

アシユベル 気にするこたあねえ。

タハト　ぎにずるごたあねえ。

ケハト　んだどもー。

アシユベル　こんなのあ草の匂いだ。先祖代々、俺だちやあずくつとこん匂いだ？

ケハト　草の匂いじゃねえ。糞くその臭いだっぺ？

アシユベル　おんなしだらう。草食った羊の糞だ。

ケハト　（不服そうな顔）　町の衆、なんであんなきれえなんだ？

タハト　まち、いきでえのけ？イクメンでもいたか？

ケハト　ちげーよ！！　んだけど・・・　なんで俺だちだけこんな汚いなりして、家も金もな

アシュベル　くて、こんなさびいところで暮らさなきゃなんねんだ？

アシュベル　羊がいるだろう。家なんぞねえ方がどこにでも行けてええ。わっ？！

突然、舞台の全照明が点灯、ひじょうに明るくなる。強い風が吹いてきて焚き火を吹き飛ばす。

ケハト　なんだ？（まぶしそうに空を見上げる）　なんだ？　わあ！

天使、天の軍勢をうしろに従えて下手から登場。羊飼いたち抱き合つてあとずさりする

天使

こわがらないで。すべての民に伝えられるうれしい知らせをもって来たのです。今日、ダビデ王の町であなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主なるキリストです。さあ、行って、飼い葉桶の中に寝ている赤ちゃんを見ていらつしやい。それが証拠です。

暗転

羊飼いの3人、空を見上げて呆けたように動かない。 ややあつて……

ケハト うれしい知らせ？

タハト うれじいぢらせー！

ケハト 俺たちにも！

アシユベル 飼い葉桶の中に赤ちゃんだと！

ケハト 見にいくべ。

タハト みにいくべ。

アシユベル 今聞いたその出来事を見に。

ケハト・タハト おおー！！（立ち上がる）

「ああベツレヘムよ」

ああベツレヘムよ、などかひとり
星のみ匂いてふかく眠る

知らずや、今宵くらき空に
とこよのひかりの照りわたるを

ひとみな眠りて知らぬまにぞ
み子なるキリスト生まれたもう
あしたの星よ、うたいまつれ
「神にはみ栄え、地に平和」と

しずかに夜露のくだるごとく
めぐみの賜物、世にのぞみぬ
罪ふかき世にかかるめぐみ
あめより来べしとたれかは知る

ああベツレヘムのきよきみ子よ
今しもわれらくだりたまえ
こころをきよめ宮となして
今よりときわにすまいたまえ

(ミツレムにて)

ケハト　　なくんか拍子抜けだなや。　メシヤが生まれたつてのは本当け？　静かすぎねえか。

タハト　　しずかだなや。

アシュベル　　みくんな寝ちまつてら。

ケハト　　ん？　(顔を上げて匂いをかぐしぐさ)

タハト　　ん？　(耳の横に手を当てて遠くの音を聞くしぐさ)

ケハト・タハト　　(顔を見合わせて)　こっちだ！

アシュベル　　飼い葉桶つつつたら、馬小屋だべ！

ケハト　　ここか？　それにしても・・・メシヤにしちやあえらくキタネえ・・・。

タハト　　だれかいるよ。

アシュベル　　(のぞき込んで)　おおお！

アシュベル　　(祈りの姿勢で)　ああ神さま、あなたのなされる事は不思議です。わしらに今日、こ

んなうれしい出来事を知らせてくださり、誰よりも先にここへよんでくださった。

ケハト 俺たちあ羊飼いで。その、今日野宿をしてたら、突然天から光る人だちがやってきて、

そんで、そんで……。

タハト 「うれしい知らせをもって来た」って。

アシユベル 「すべての民に伝えられるうれしい知らせをもって来た、今日、ダビデ王の町でメシヤがお生まれになったと。その方こそ主なるキリストで、飼い葉桶の中に布にくるまれて寝かされている」と。それが、本当に本当にその通り、なんで。(飼い葉桶を見る)

ケハト ああ。今日確かにメシアに会えた。

タハト メシアにあえた。

アシユベル 神さまは本当にお約束を守りなされた。

タハト おまもりなされた。

ケハト それに……。

タハト それに？

ケハト (声をひそめて) ここは、俺たちと・お・ん・な・し・匂いだ。

タハト・アシユベル (一呼吸して) ほんとだあ。(笑う)